

2005年度決算説明会資料

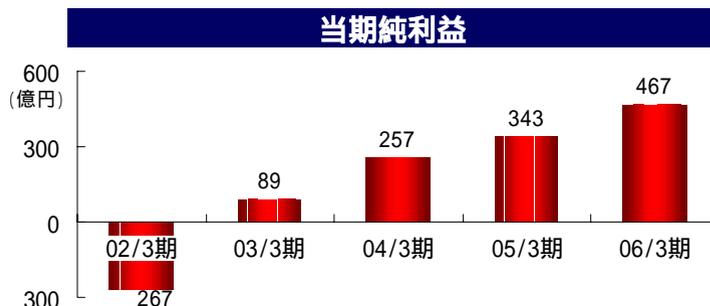
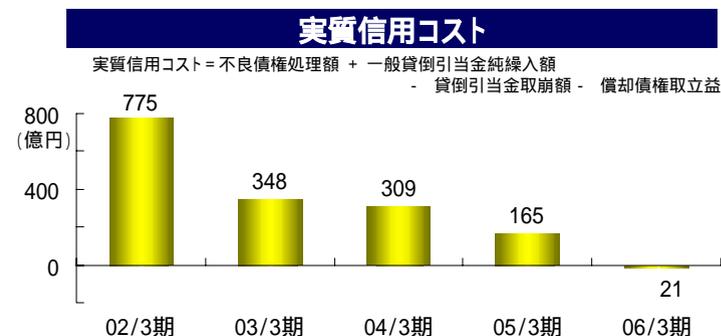
2006年6月2日
株式会社 **千葉銀行**

はじめに

2006年3月期は資金利益や役務取引等利益が増加したことなどにより、実質業務純益は752億円と過去最高となりました。また実質信用コストが21億円の戻り益となったことなどから、経常利益は688億円、当期純利益は467億円とともに最高益を更新しました。

景気回復基調の中、資金需要の高まりへ対応すべく実施した2005年12月の増資により、一層の収益力強化に向けた布石を打つことができました。

本日は、2006年3月期決算概要の説明の後、中期経営計画の進捗状況及びさらなる「価値創造」へ向けた今後の戦略について説明いたします。



目次

第1章 「『価値創造』へ向けて 挑戦と革新の100週間」の現状

中期経営計画の進捗状況	4
決算概要	5
住宅ローン	6
事業者向け貸出	7
金融商品販売	8
マーケット運用	9
経費の削減	10
不良債権問題への取組み	11
2007年3月期 業績予想	12

第2章 さらに『価値創造』へ向けて

営業地域の拡大	14
県内店舗戦略	15
つくばエクスプレス沿線への展開	16
強靱な営業体制の構築	17
ワンストップサービスの実現	18
個人ビジネスの推進 ~住宅ローン~	19
個人ビジネスの推進 ~金融商品販売~	20
個人ビジネスの推進 ~カードビジネス~	21
提案営業力の強化	22
新しい金融手法への取組み	23
財務基盤の一層の強化	24
グループによる総合金融サービスの提供	25

「『価値創造』へ向けて
挑戦と革新の100週間」の現状

中期経営計画の進捗状況

06/3期 計数目標を全て達成

	06年3月期		07年3月期	
	実績	中計計画値	予想	中計計画値
連結当期純利益	489億円	380億円	515億円	440億円
実質業務純益 ²	752億円	740億円	810億円	810億円
ROA ³	0.51%	0.4%程度	0.5%以上	0.4%以上
ROE ⁴	9.00%	8.0%以上	9%以上	8.5%以上
OHR ⁵	49.95%	50%程度	50%未満	50%未満
Tier 比率	8.05%	8%程度	8%台前半	8%以上

1 連結当期純利益以外は単体ベース
 2 業務純益 + 一般貸倒引当金純繰入額
 3 当期純利益 ÷ 総資産平残(支払承諾見返平残を除く)
 4 当期純利益 ÷ 期末資本の部
 5 経費 ÷ (業務純益 - 債券関係損益等 + 一般貸倒引当金純繰入額 + 経費)

決算概要

実質業務純益、経常利益、当期純利益で過去最高

<億円>	05/3期	06/3期	
			増減額
業務粗利益	1,478	1,505	26
ufi 資金利益	1,237	1,262	24
ufi 役務取引等利益	170	196	26
経費	737	753	15
ufi 人件費	360	358	2
ufi 物件費	337	352	15
実質業務純益	740	752	11
一般貸倒引当金純繰入額	17	-	17
業務純益	758	752	6
臨時損益	180	63	116
ufi 不良債権処理額	236	111	124
ufi 株式等関係損益	41	28	13
経常利益	578	688	110
特別損益	55	121	65
ufi 貸倒引当金取崩額	-	92	92
ufi 償却債権取立益	53	40	13
当期純利益	343	467	124
連結当期純利益	363	489	125

国内資金利益

<億円>		06/3期	
			増減
貸出金	平残	59,387	2,160
	利息	1,120	19
ufi 事業者向け貸出	平残	34,600	1,078
	利息	650	26
ufi 消費者ローン	平残	18,800	1,280
	利息	417	14
有価証券	平残	15,474	2,577
	利息	118	32
預金	平残	75,308	3,245

役務利益

<億円>		06/3期	
			増減
役務取引等利益		196	26
ufi 投信 + 年金		95	25

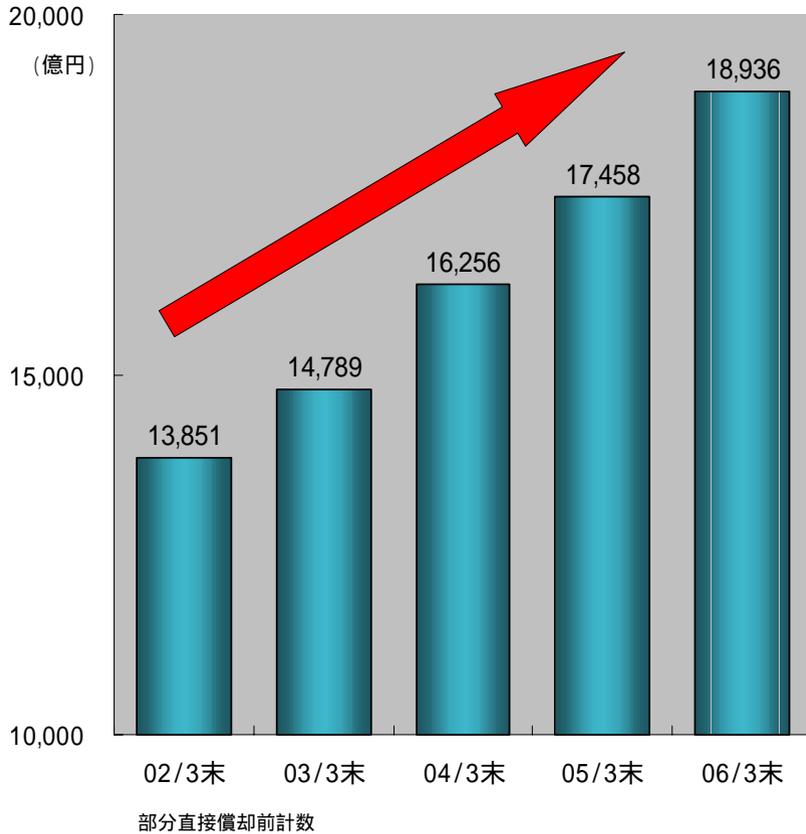
実質信用コスト

<億円>		06/3期	
			増減
(一般貸倒引当金純繰入額)		74	57
不良債権発生内訳		94	143
債務者区分悪化		148	113
担保		44	42
回収等		98	11
信用コスト		18	200
償却債権取立益		40	13
実質信用コスト		21	186

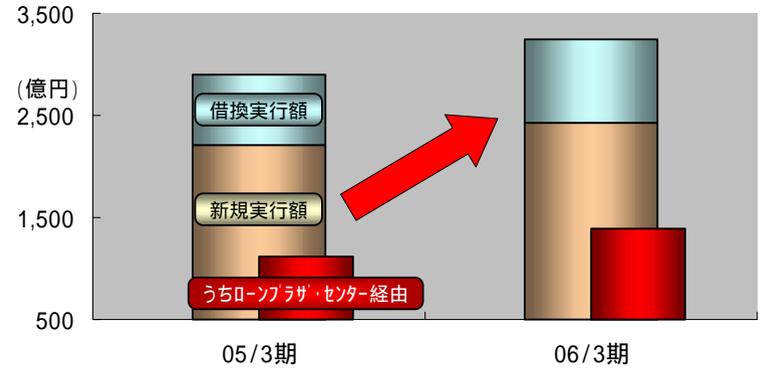
住宅ローン

過去最高の実行額

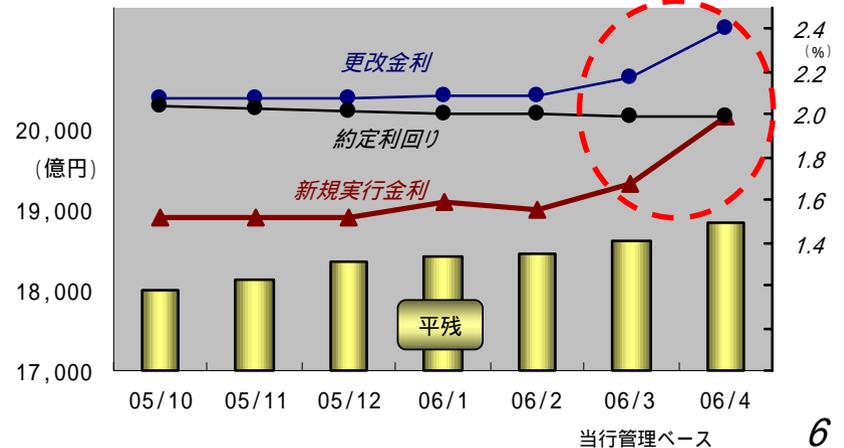
住宅ローン残高推移



住宅ローン実行額推移



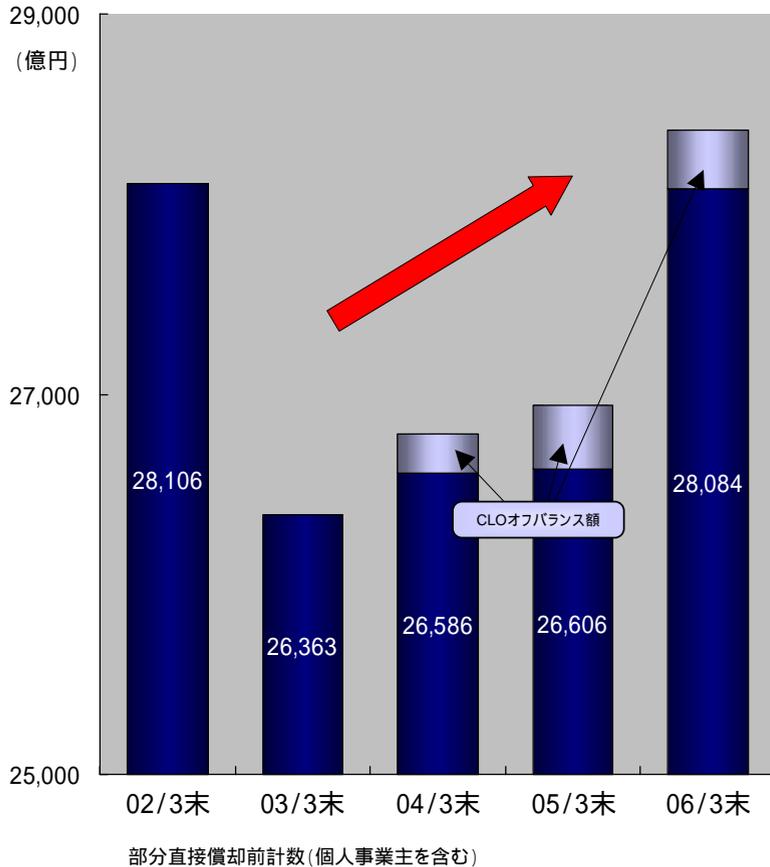
住宅ローンの状況 (平残・利回り等)



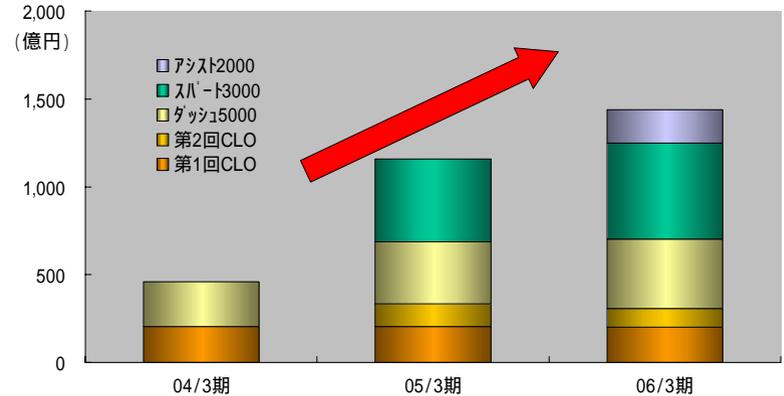
事業者向け貸出

顧客の資金ニーズに積極的に対応

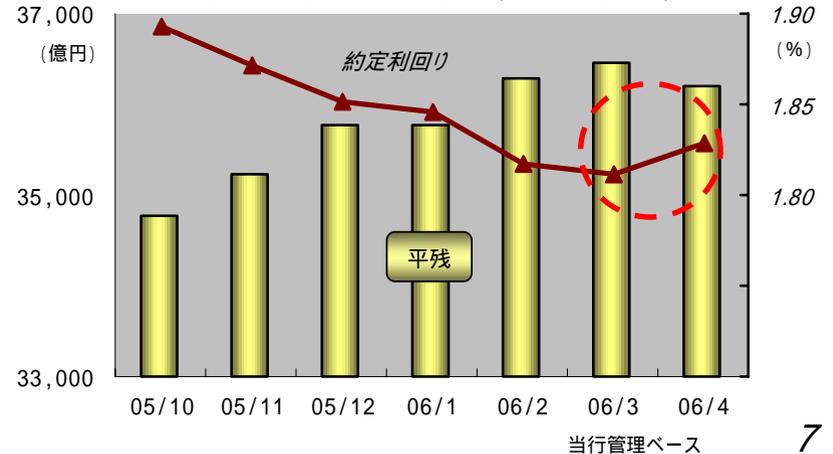
中小企業向け貸出残高推移



中小企業向け新商品残高推移



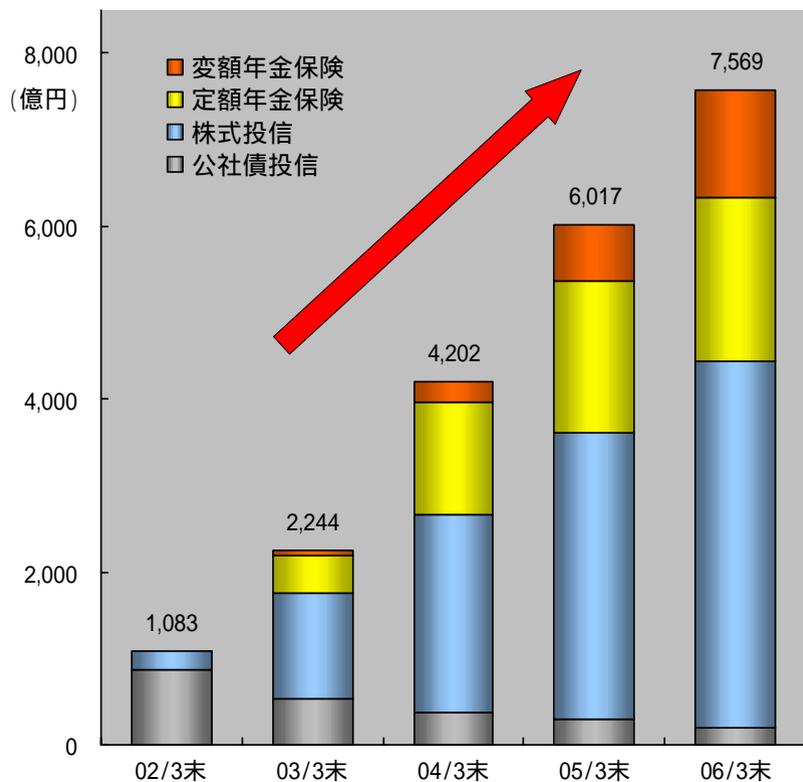
事業者向け貸出の状況(平残・利回り)



金融商品販売

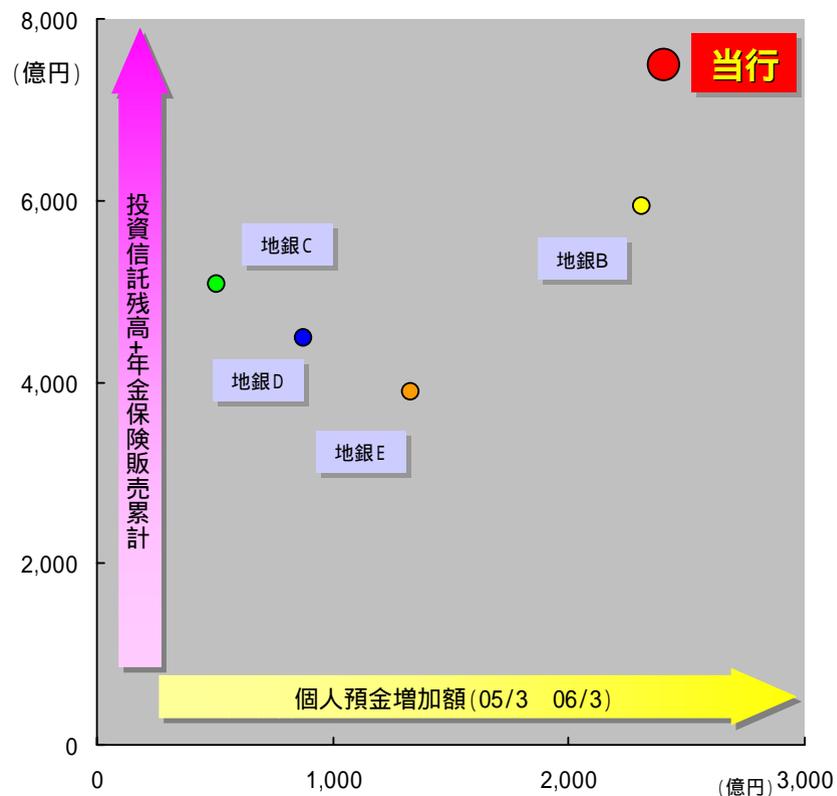
地方銀行トップの実績

投資信託残高・年金保険販売累計推移



06/2より取扱を開始した一時払終身保険は変額年金に含む

個人取引の実績

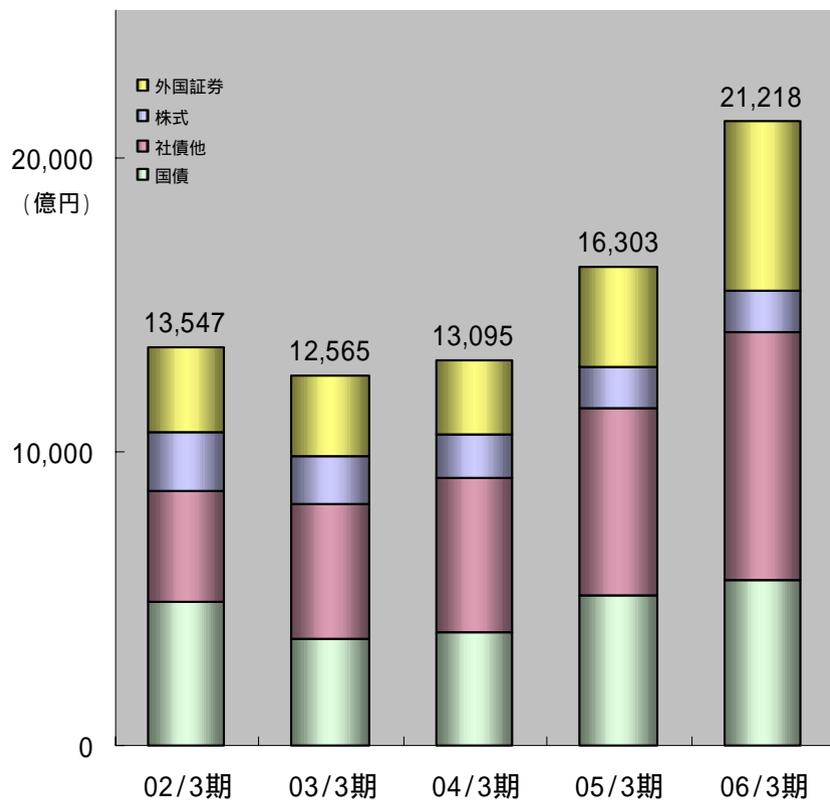


当行、横浜、静岡、常陽、福岡(06/3期決算短信等より作成)

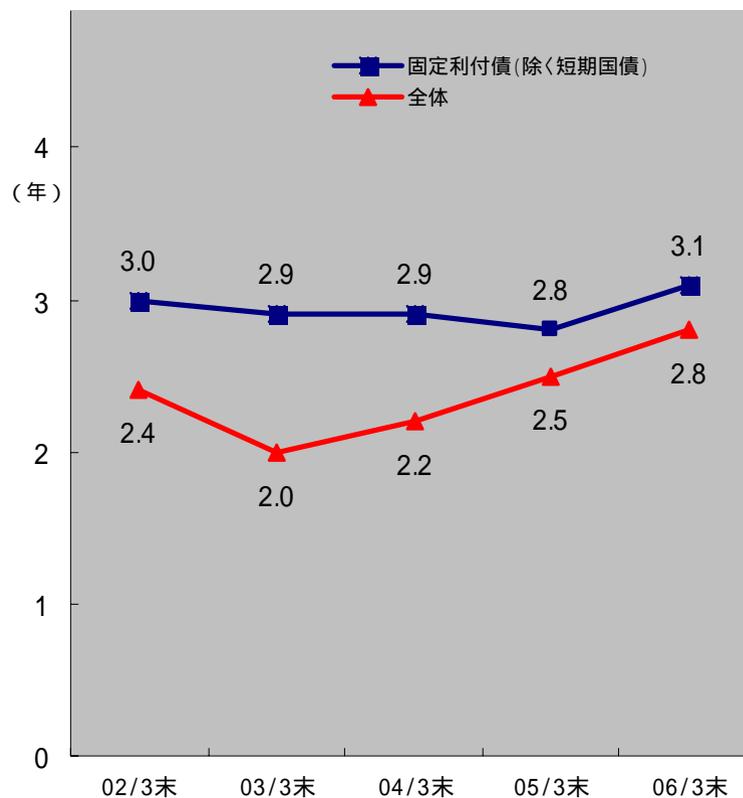
マーケット運用

金利リスクに配慮した有価証券投資を実施

有価証券平残推移



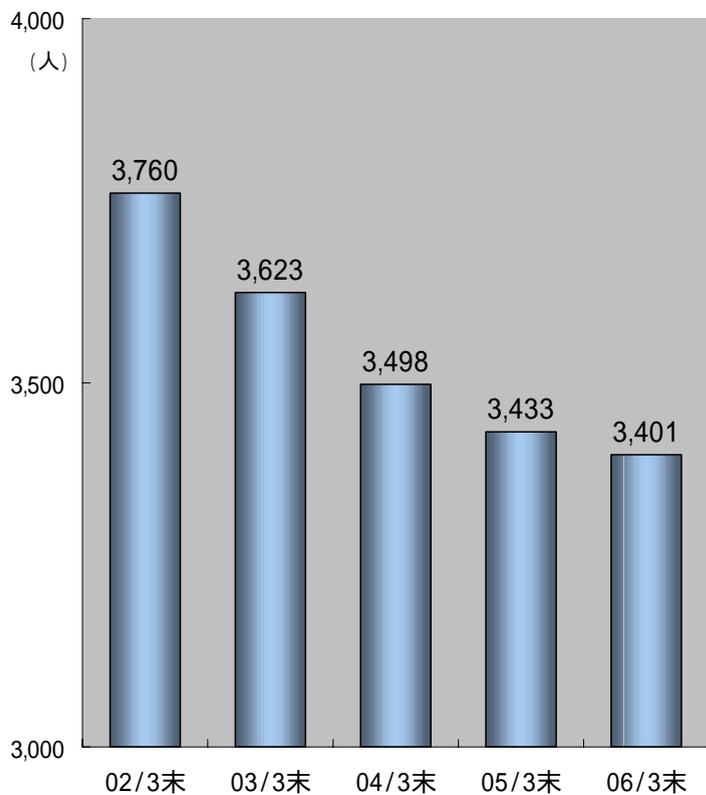
円債の平均残存期間



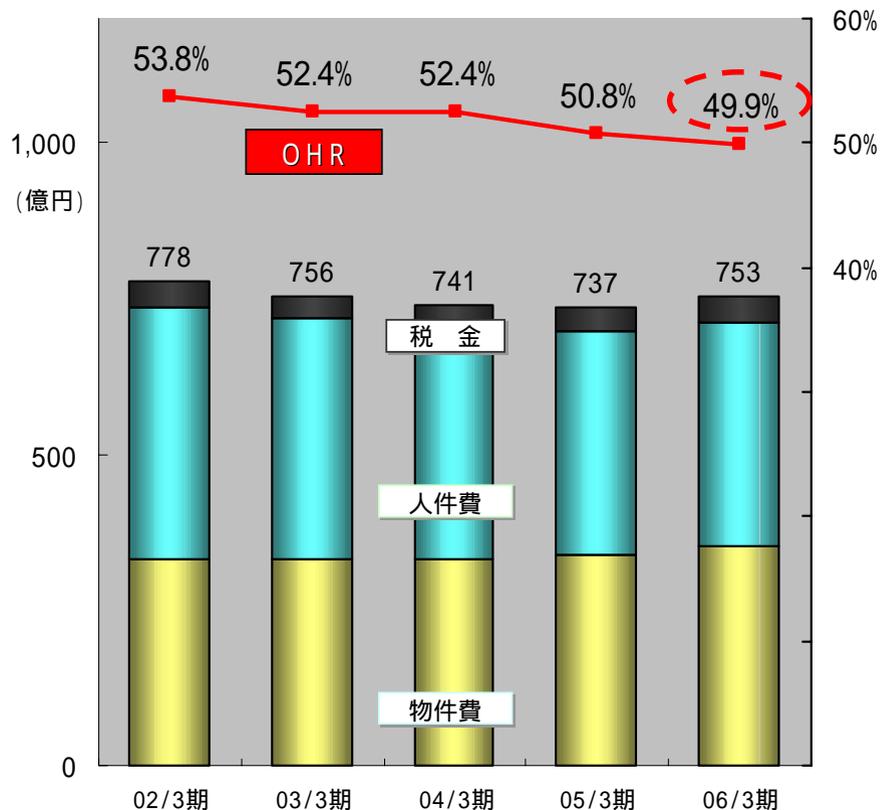
経費の削減

OHR40%台を達成

職員数
(除く出向者)



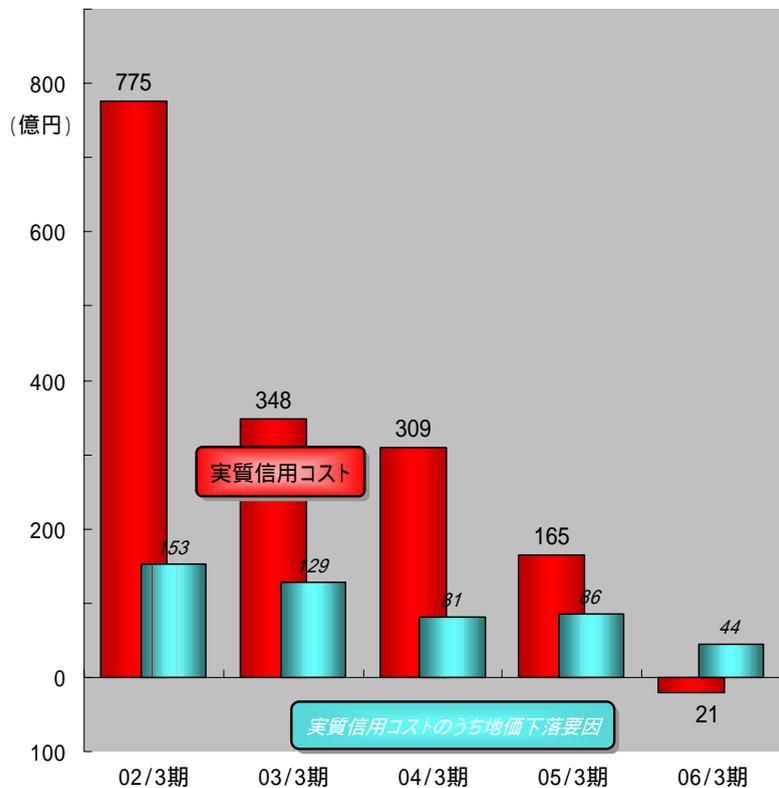
OHR・経費



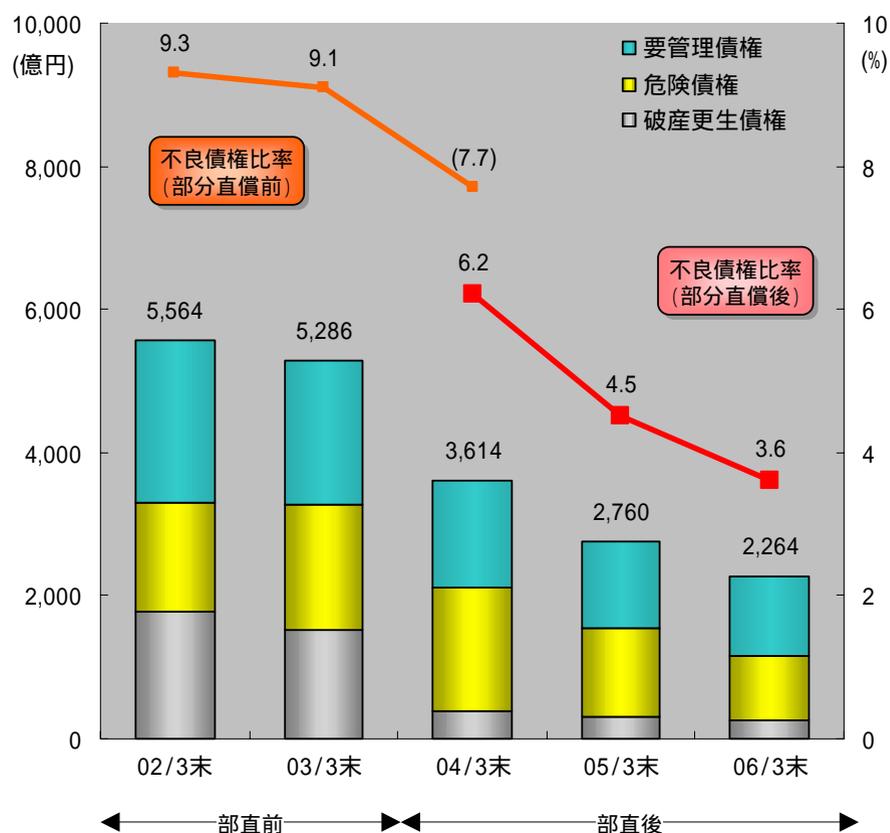
不良債権問題への取組み

資産の質は着実に改善し、実質信用コストは戻入へ

実質信用コスト



金融再生法開示債権残高・比率



2007年3月期 業績予想

更なる収益の拡大を目指す

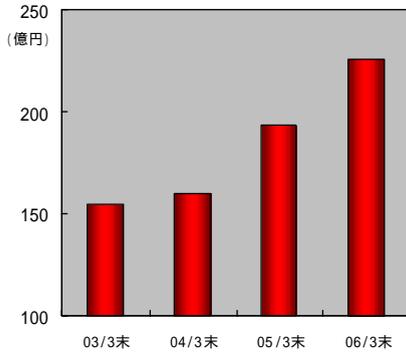
<億円>	06/3期	07/3期	
	(実績)	(予想)	06/3期比 増減額
業務粗利益	1,505	1,580	75
経費	753	770	17
実質業務純益	752	810	58
経常利益	688	740	52
当期純利益	467	480	13
信用コスト	18	50	32
実質信用コスト	21	40	61
連結経常利益	791	840	49
連結当期純利益	489	515	26

さらなる『価値創造』へ向けて

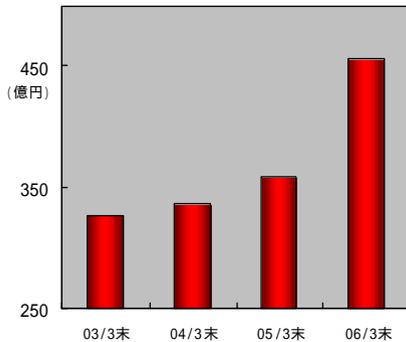
営業地域の拡大

千葉県隣接地域へ面の営業を展開

埼玉県内の事業者向け貸出金推移



葛西地区の事業者向け貸出金推移



県内店舗戦略

店舗新設・移設により営業基盤を強化



八千代緑が丘支店

2006年3月

八千代緑が丘支店



ユーカー리가丘支店

2005年11月

ユーカー리가丘支店



新設店舗



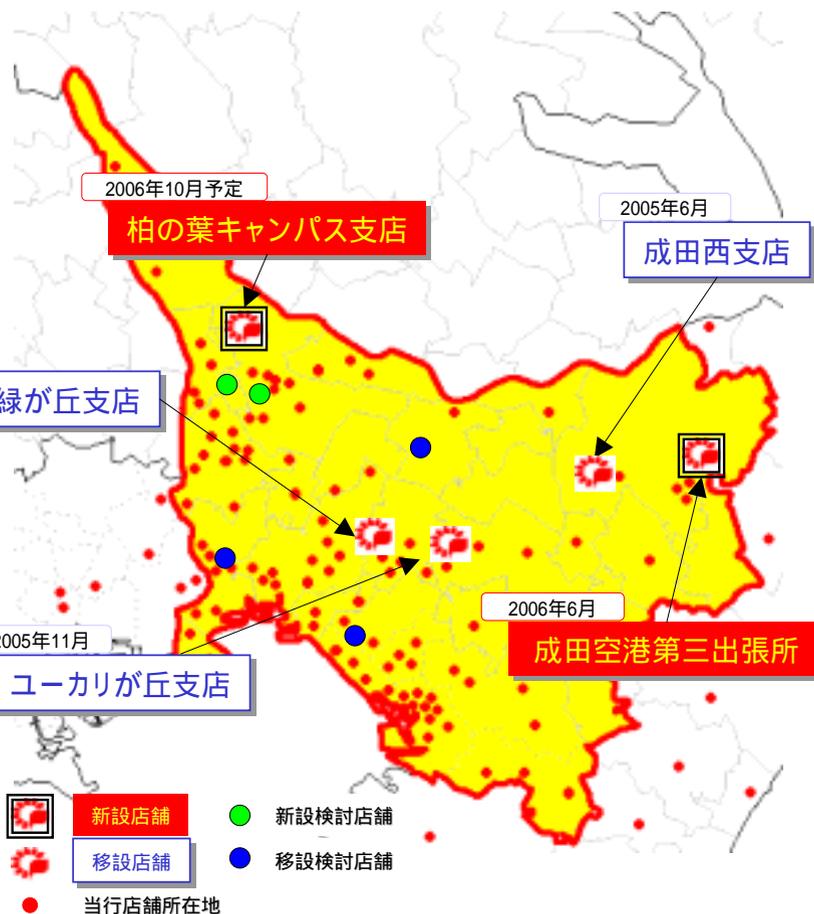
移設店舗



当行店舗所在地

● 新設検討店舗

● 移設検討店舗



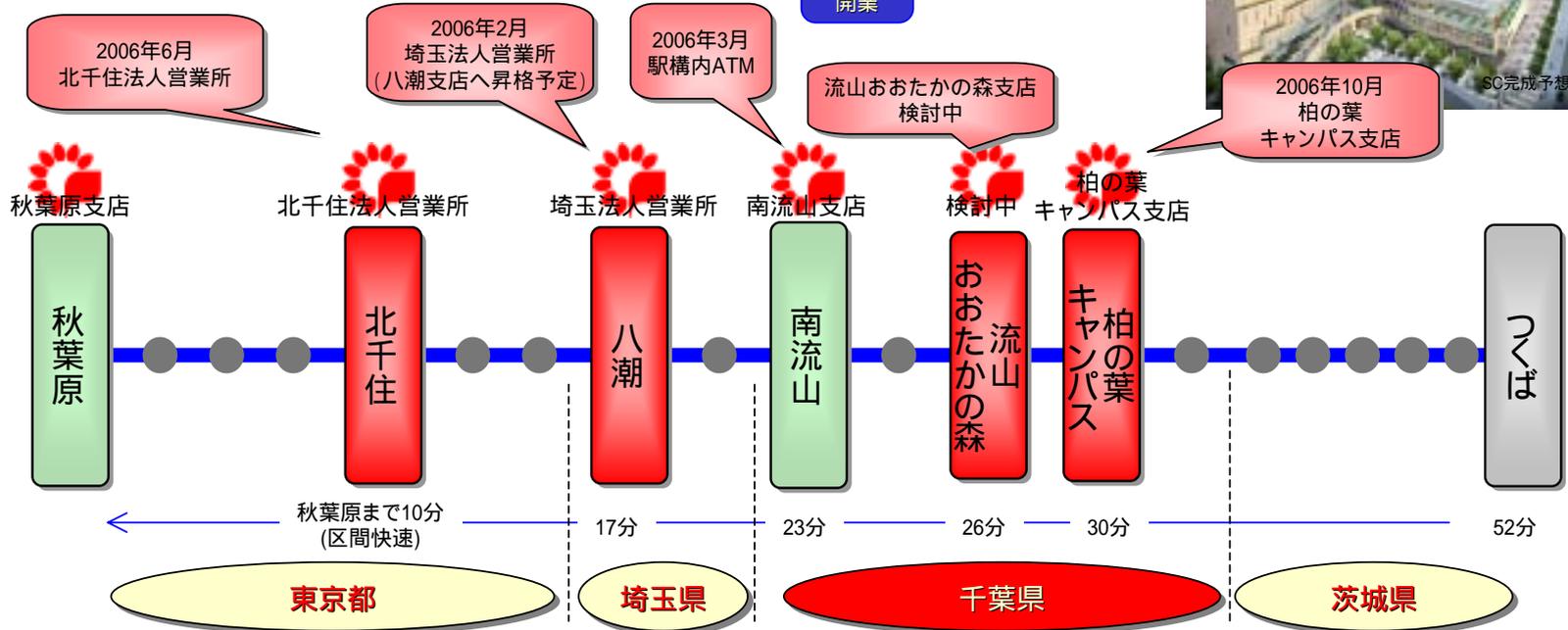
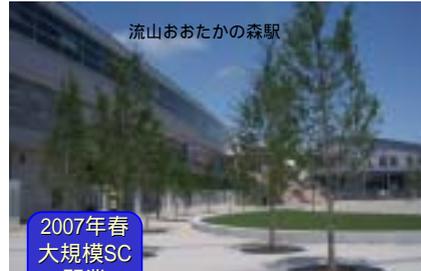
成田西支店



成田空港支店

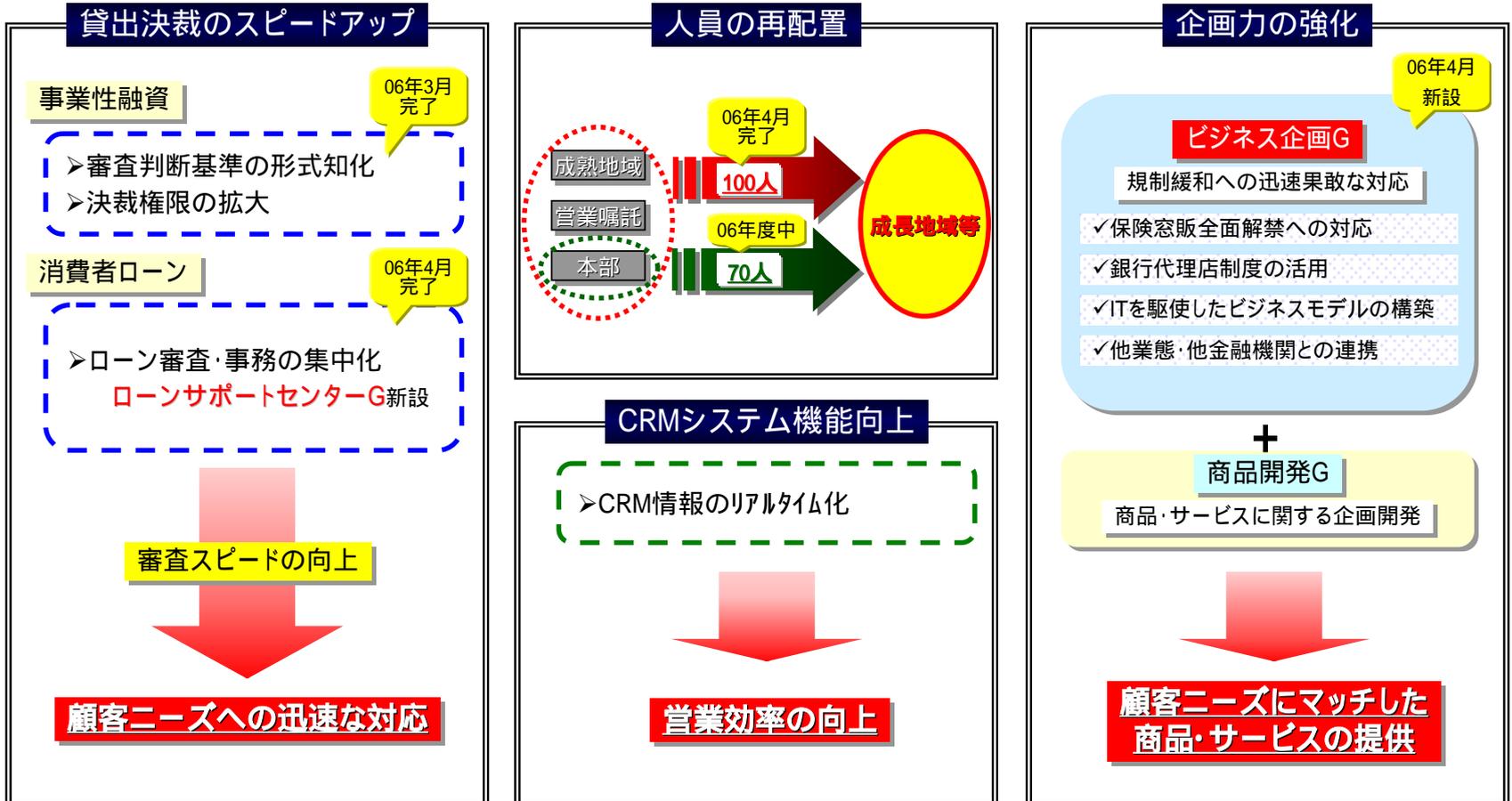
つくばエクスプレス沿線への展開

開発の進むTX沿線へ集中展開



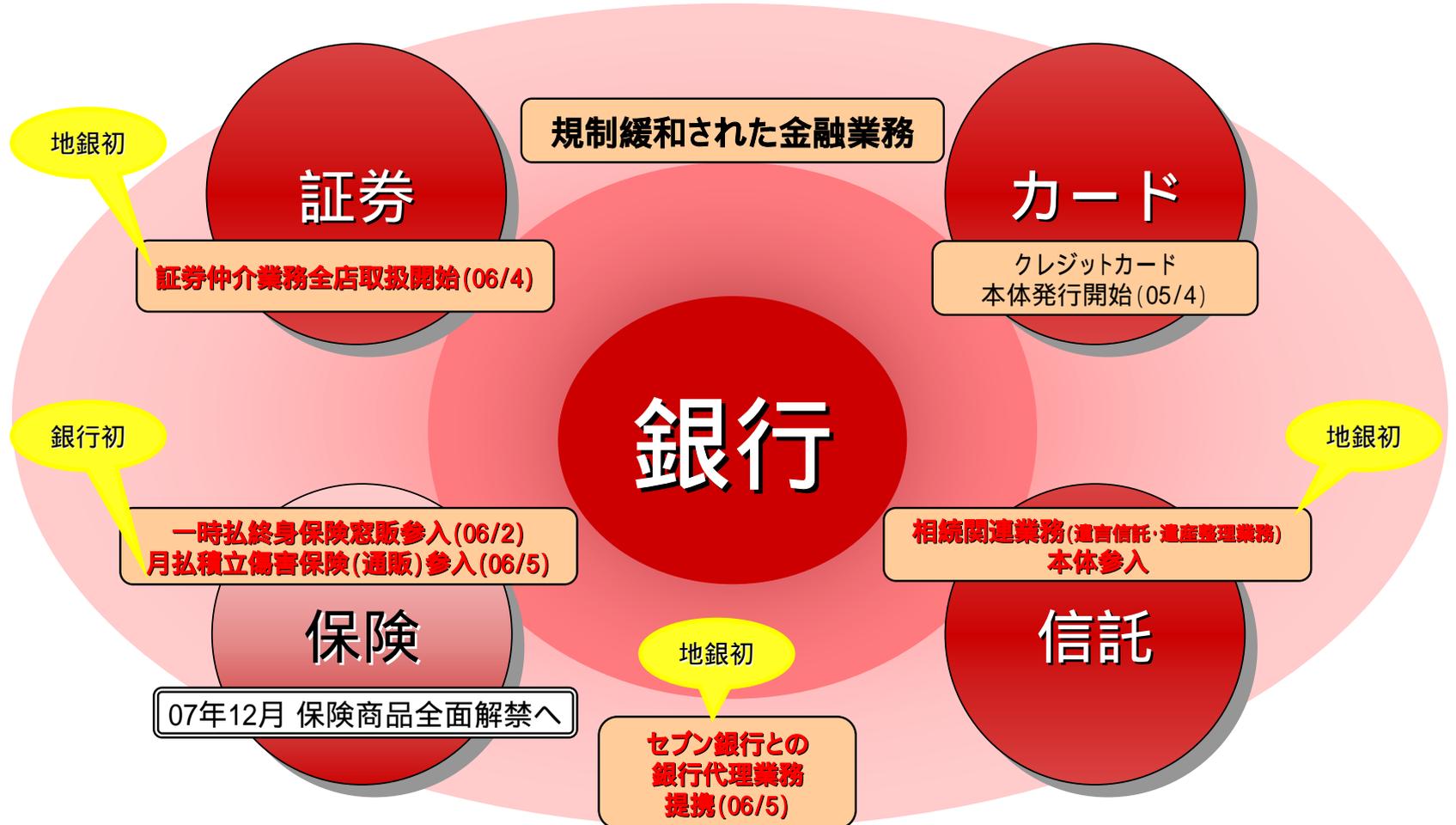
強靱な営業体制の構築

業務や組織の見直しによる営業力強化



ワンストップサービスの実現

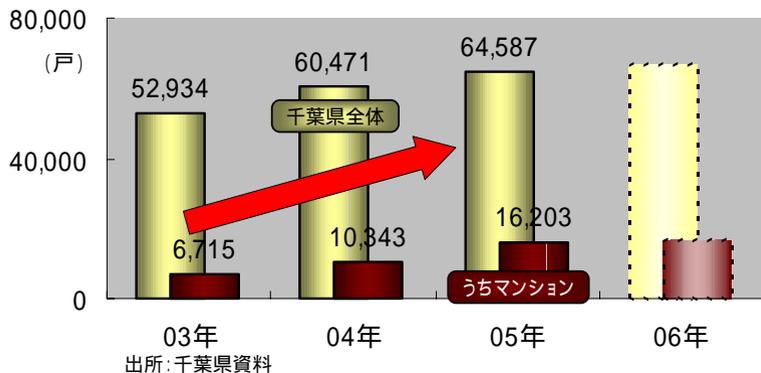
規制緩和に積極的に対応



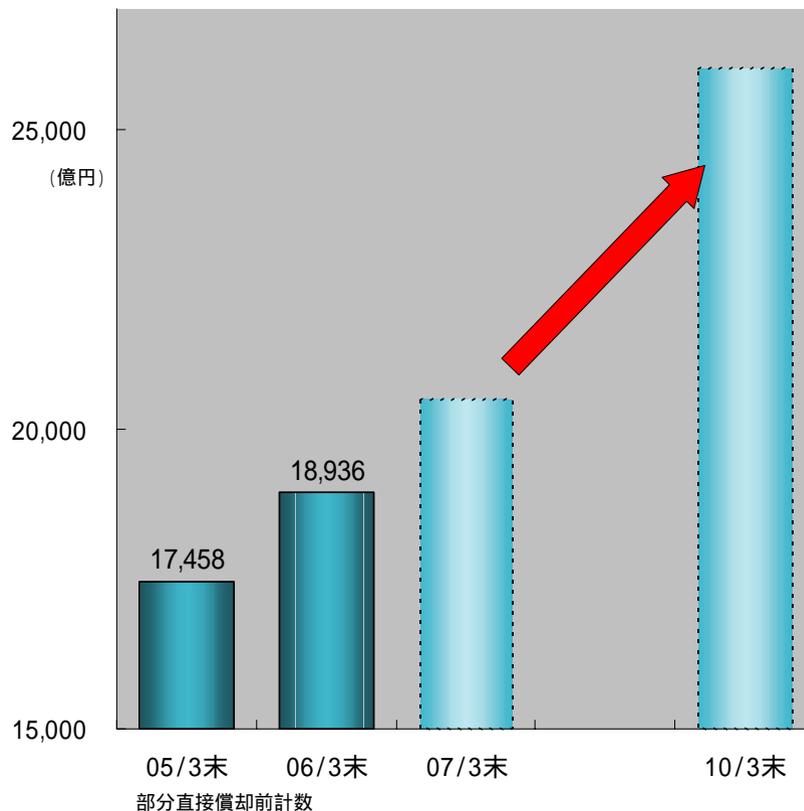
個人ビジネスの推進 ~ 住宅ローン ~

住宅ローンを一層強化

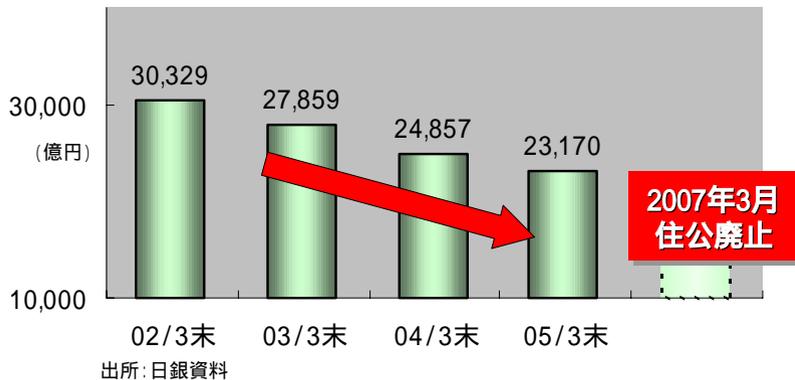
住宅着工戸数推移



住宅ローン残高見込み



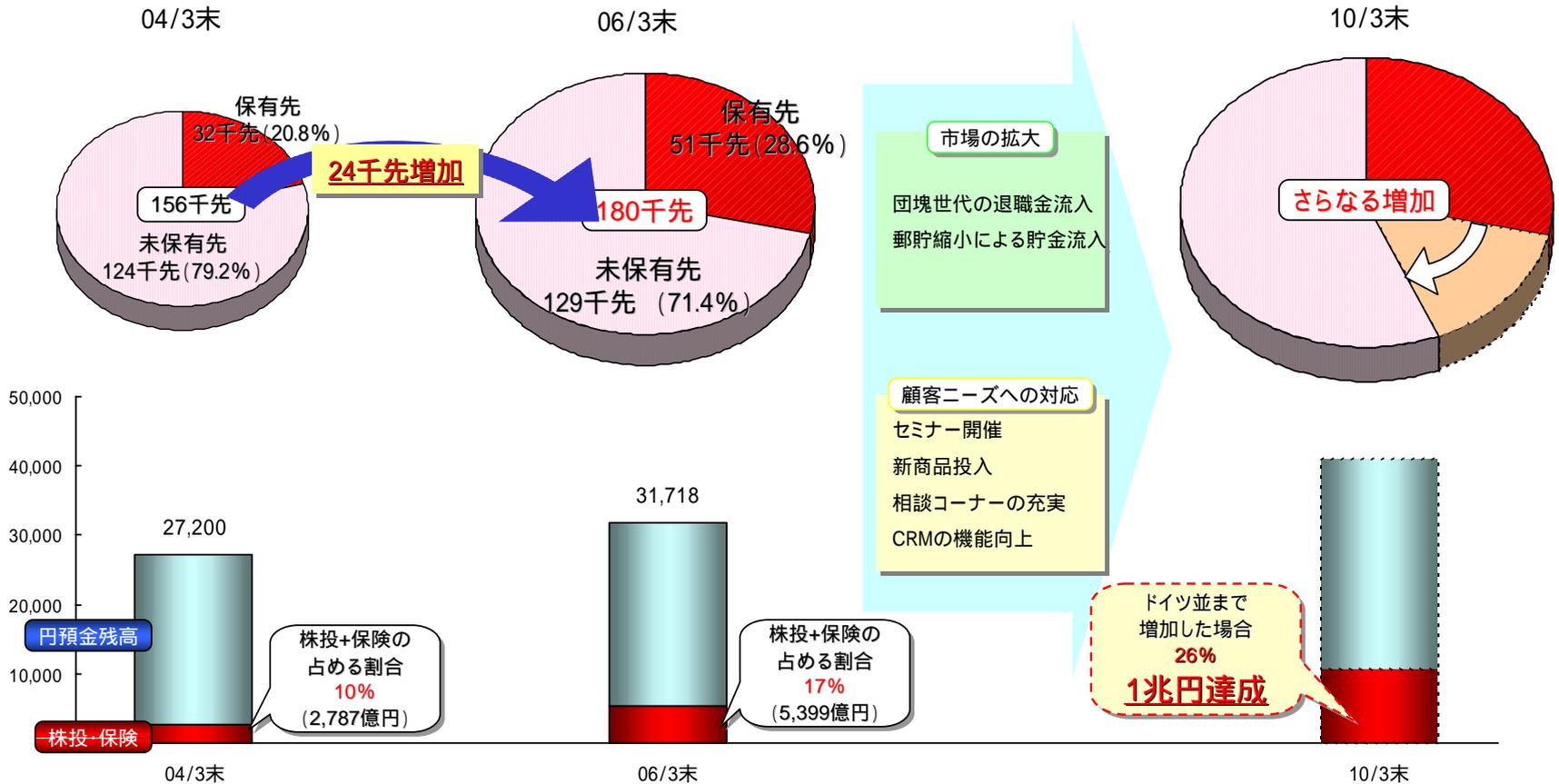
千葉県内住宅金融公庫残高推移



個人ビジネスの推進 ~ 金融商品販売 ~

新規顧客層の開拓と既存顧客層へのフォローを強化

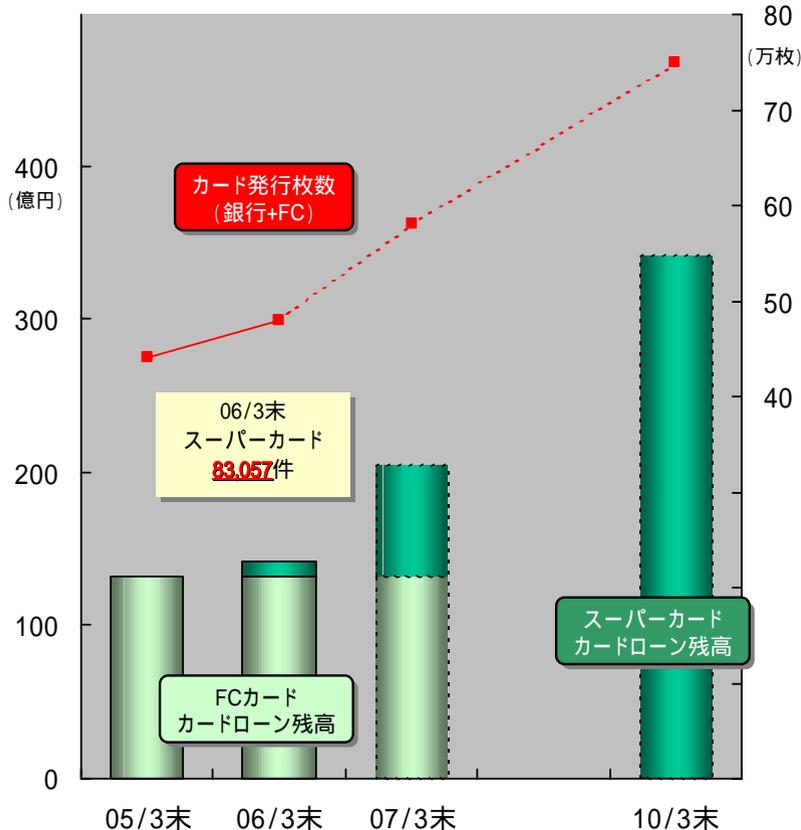
株投・年金保険保有先数の割合・預金残高(金融資産1千万円以上先)



個人ビジネスの推進 ~ カードビジネス ~

個人ビジネス第3の柱へ

スーパーカード計画



他業態との連携
新型ポイントサービス

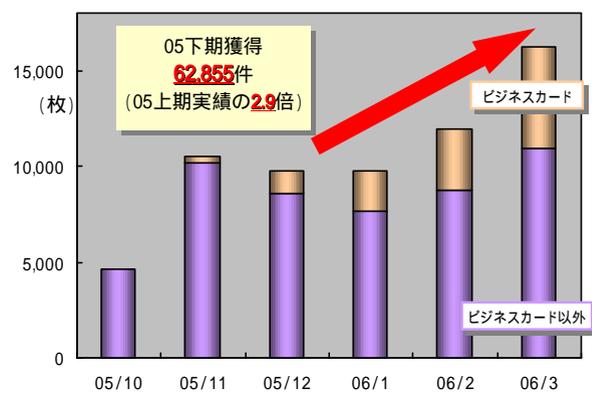
商品性の向上

セキュリティ向上
生体認証対応

利便性の提供
携帯クレジット対応

利便性の提供
電子マネー対応

獲得実績



ビジネスカード

- ✓ 県内地公体
有力企業等と提携
- ✓ 旅行傷害保険等
多くの特典

提携先数 **1100**先

対象顧客数 **30**万人

提案営業力の強化

顧客ニーズに応じたサービスを提供

海外進出支援



中国ビジネスマッチング商談会

中国進出取引先数
143社

06/3末

中国進出取引先
への支援実績
50社

06/3期

ビジネスマッチングの推進



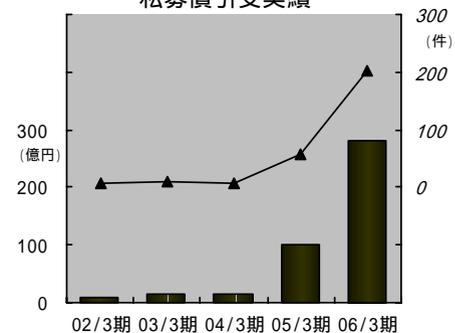
千葉ロッテマリーンズ説明会

ビジネスマッチング
商談会を23回開催

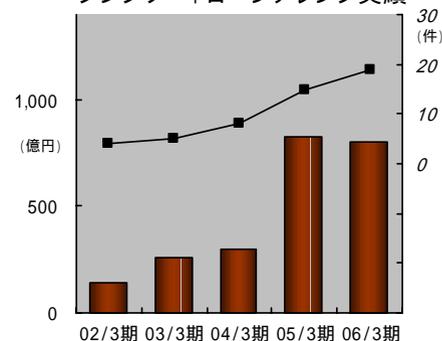
参加企業数
のべ559社

06/3末までの累計

私募債引受実績



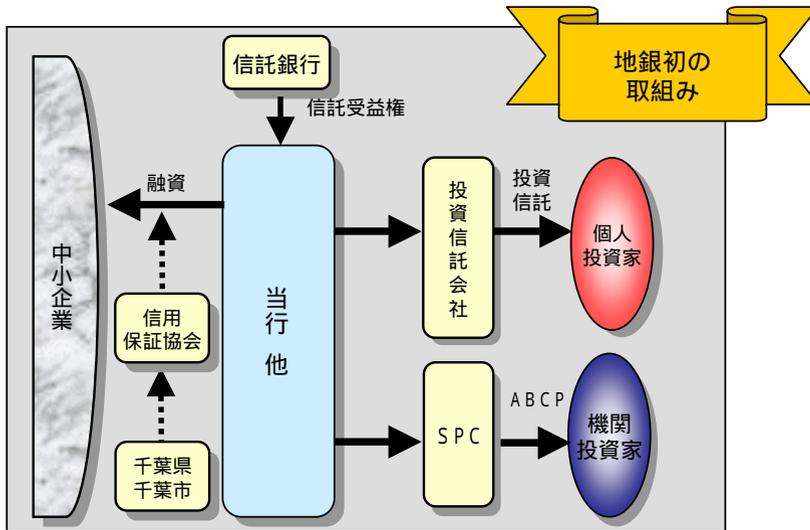
シンジケートローンアレンジ実績



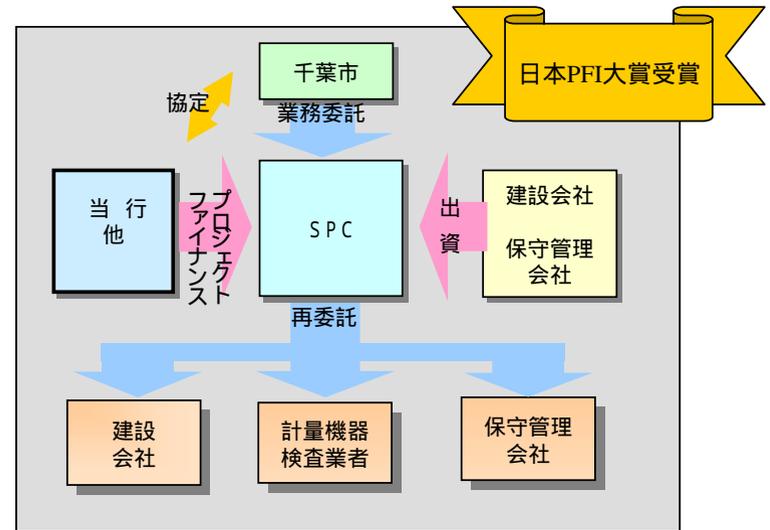
新しい金融手法への取組み

高度な金融スキルへ積極対応

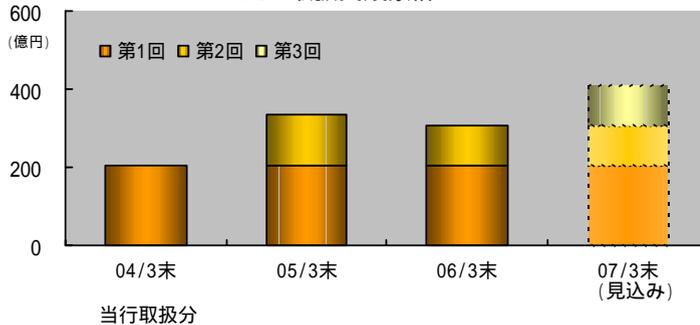
千葉県版CLO



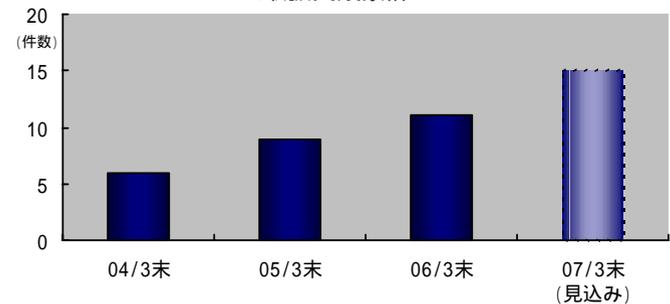
千葉市消費生活センターPFI



CLO取扱実績累計

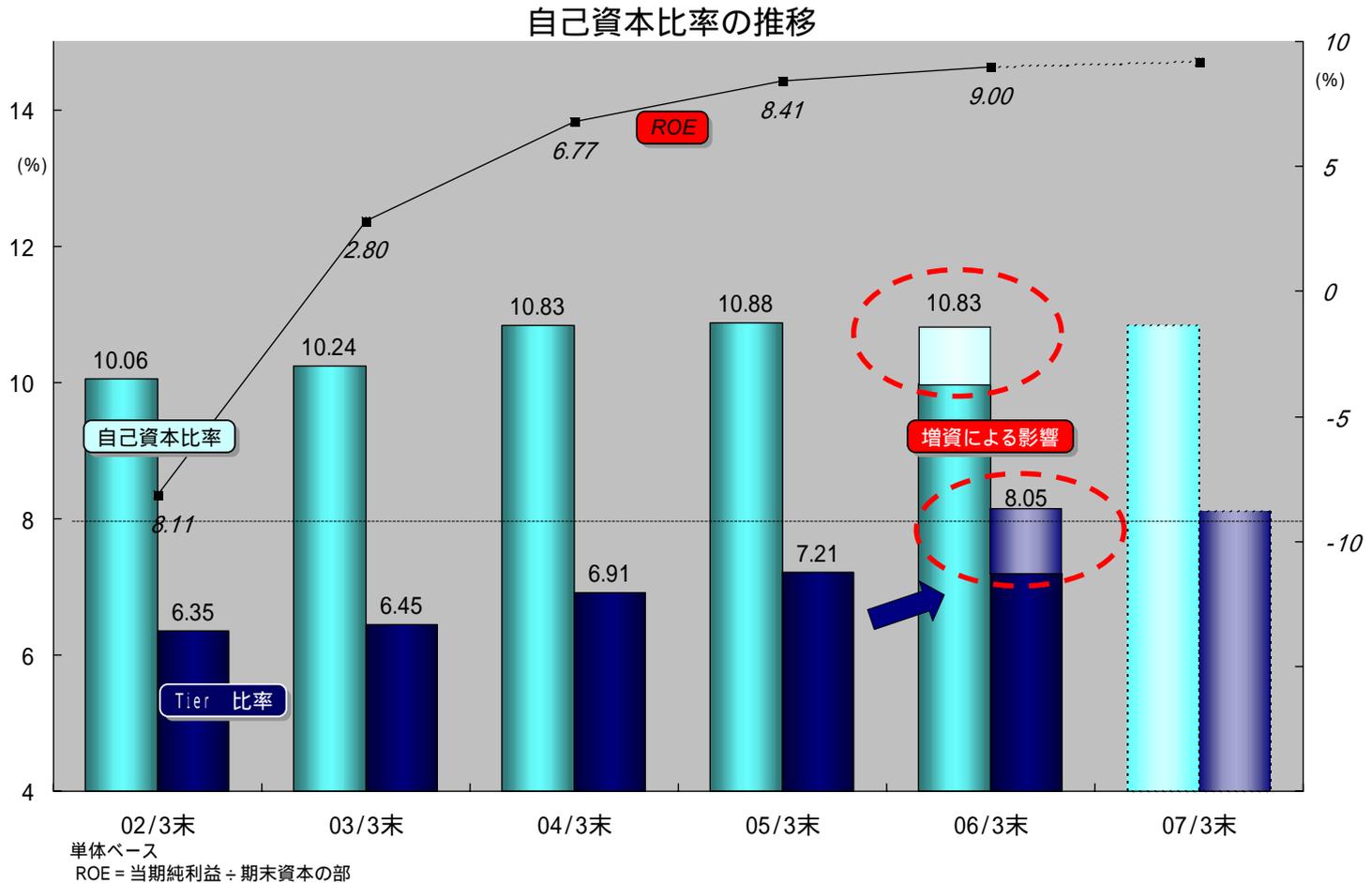


PFI取扱実績累計



財務基盤の一層の強化

ROE 10%を目指して



グループによる総合金融サービスの提供

グループ総合力による企業価値拡大へ

ちばぎんグループ

証券

中央証券株式会社
ちばぎんアセットマネジメント株式会社

カード

ちばぎんジェーシーピーカード株式会社
ちばぎんディーシーカード株式会社

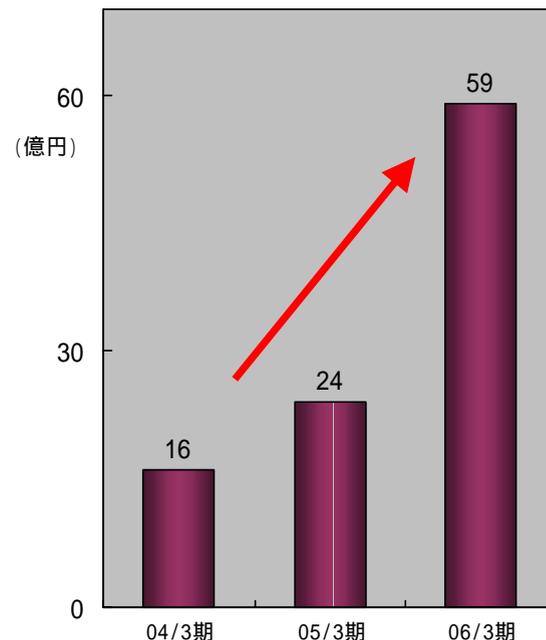
リース等

ちばぎんリース株式会社
ちばぎんキャピタル株式会社

業務効率化

株式会社ちばぎん総合研究所
ちばぎんコンピューターサービス株式会社
ちばぎんアカウンティングサービス株式会社

グループ会社当期純利益



グループ会社当期純利益合計ベース